

冷たい汐風に吹かれながら海を眺めてみたい。
ロマンチックに、でも、
ちよつとだけ寂しげに...。
不知火の海はあくまで深く澄んでいた。

甘夏ミカンの里―芦北・水俣地方



甘夏ミカン畑から不知火海を望む。

岬に立って冬の海を見ていた。低く広がる空が影を落とし、ているのか、夏の海とは違う神秘的な輝きを放っていた。

レジャーランドが海と山をとり込んだ

幾分、汐風が和らいできた。海は青く広がり、透明感さえも感じられる。ついさっきまで、音を轟かせ一直線に走っていた汐風、それも山の斜面がすべて吸収してしまったらしい。リニア式海岸で仕切られた陸と海。岬と入江が入り込んだこの一帯は、芦北海岸県立公園に指定されている。赤松トンネルを抜けると、色づきは



芦北町のテンフォーチュン展望台。

海岸線から町は主張している

水俣市の標識を待たずに海岸道路へと通じる道に折れた。大きなカーブを曲がると、太陽を浴びてスターダスト

じめた甘夏ミカン畑のお出迎えだ。まず、田浦町の「御立岬公園」を訪ねた。ここは海の景観と山の斜面を活かしてつくられたスケールのでっかい公園だ。



津奈木町西橋の「風ん子」。

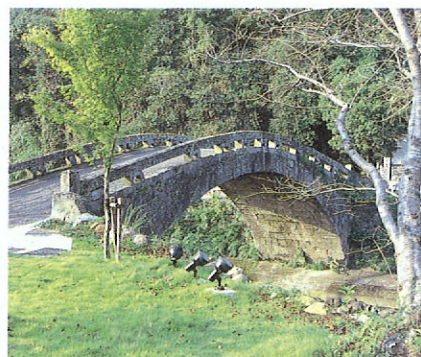
テニスコートはもちろん、ロンスキーやスノーバードスライダーといったレジャー施設が揃っている。そこで、スノーバードスライダーに挑戦。長さ二五〇メートルの斜面を利用して造られたレールを滑り降りる。スピードは操作棒任せ、まさに「海に向かって滑走する」という表現がピッタリ。寒いながらもなかなか熱い遊びだ。

いつの間にか、駐車場の車の数も多くなってきた。グループが小型バスを乗り付けての公園散策。写真撮影と、

辺りは活気にみちてきた。

岬で、町で オフジエを発見

海水浴客で賑わう人工ビーチをもつ芦北町。夏の初めには海亀も産卵にやってくるそうだ。ビーチを見下ろす岬は、年間を通じて海からの強風が絶えず、通称「風の岬」と呼ばれる。岬へと続く道を登り詰めると、海辺の風車「ベイサイドミル」へと通じる一本の道が、また続く。その脇は岬の急斜面。生い茂る木々の間からは海が見え、



津奈木町の重盤岩めがね橋。(つなぎ物産ギャラリー隣り)

風と波の音だけが響いている。風車は太陽の光りを燦々と受け、黙々と回り続けていた。さらに登ると、高さ十

て、食べて、いい思い出になりそうだ。

神秘的なりアス式海岸が続く不知火海沿いの町を訪ねた。この秋、水俣湾埋立地には親水緑地内のボードウォークや竹林園が目見えた。それぞれ

の町が、それぞれの海岸線で自己主張している。海と共に、風と共に歩む町。そのことに改めて気付かされた。そうそう、甘夏ミカンの収穫はもうすぐ...だ。

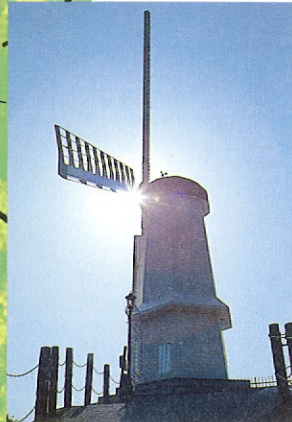
●御立岬公園
御立岬を利用して造られた海を見下ろせる公園。ロンスキーやスノーバードスライダーなど楽しい乗り物もいっぱい。開9～16時(4～10月は9～17時)休第2・4火曜。



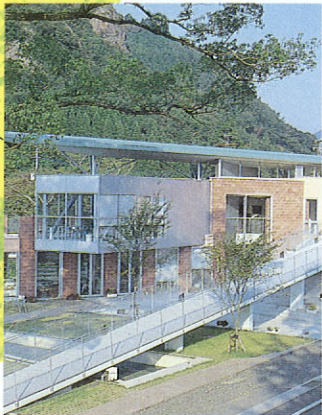
芦北・水俣地方



●橋「爽風」
津奈木町に点在する岩野勇三氏による彫像群の一つ。津奈木大橋の「黒風」、西橋の「風ん子」、さらに、役場庁舎の「若い女」も同氏の作。



●ベイサイドミル
田浦、芦北両町境の「井手の鼻」に立つオランダ風車。この岬は、四季を通して海からの強風が絶えないため「風の岬」と呼ばれて親しまれている。



●つなぎ物産ギャラリー
芦北・水俣地方の特産品を展示販売。二階の郷土料理の店では特産品を使った食事も楽しめる。近く「重盤岩めがね橋」がある。開10～18時。休水曜。☎0966(78)2000



●福田農場
スペイン料理が味わえる「バレンシア館」、ワイン工場の「スペイン館」が湯の尻台地に建ち並ぶ。ここから見える不知火海の眺めは最高だ。営10～21時(スペイン館は8～17時)。無休。☎0966(63)3900